



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月12日

東

上場会社名 株式会社オーイズミ 上場取引所
 コード番号 6428 URL http://www.oizumi.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)大泉 秀治
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)前田 信夫 (TEL)046(297)2111
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	9,049	21.4	1,173	162.0	1,110	300.0	646	2.8
2019年3月期第3四半期	7,451	△12.8	448	—	277	—	628	—

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 636百万円(5.3%) 2019年3月期第3四半期 604百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第3四半期	28.72	—	—	—
2019年3月期第3四半期	27.93	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	33,345	—	15,251	45.7	—	—
2019年3月期	32,096	—	14,817	46.2	—	—

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 15,251百万円 2019年3月期 14,817百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2019年3月期	—	—	—	9.0	9.0	—
2020年3月期	—	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	9.0	9.0	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	10,480	7.8	970	79.0	750	176.8	500	△16.4	22.22	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期3Q	22,500,000株	2019年3月期	22,500,000株
2020年3月期3Q	4,592株	2019年3月期	4,571株
2020年3月期3Q	22,495,427株	2019年3月期3Q	22,495,429株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)におけるわが国経済は、通商問題を巡る緊張による世界経済の減速が顕在化しつつあり、国内景気も輸出が引き続き弱含むなかで、製造業を中心に弱さが一段と増しております。

当社グループの主要販売需要先となる遊技場は、高射幸性パチスロ機の早期設置削減への対応や『ギャンブル等依存症対策基本法』の影響などもあって先行き不透明な状況から設備投資全般は抑制的であります。

このような状況のなか、機器事業は、設備機器部門において、『樹脂研磨式メダル自動補給システム』と『多機能IC玉・メダル貸機』の拡販に引き続き注力いたしました。

また、遊技機部門においては、規則改正及び新たな自主規制に対応したパチスロ機(6号機)の市場投入を本格開始いたしました。これらによりコア事業たる機器事業全体の売上高は想定値を上回ることとなりました。

不動産事業は、安定的な収益を確保いたしました。

電気事業は、連結子会社/神奈川電力株式会社が神奈川、栃木両県の太陽光発電所(発電能力合計24メガワット)を順調に稼働させております。

コンテンツ事業は、連結子会社2社/株式会社オーイズミ・アミュージオ、及びレッド・エンタテインメントがパッケージゲーム、オンラインアミューズメント、アニメキャラクターの企画制作等の事業を行っております。

その他の事業は、連結子会社/妙高酒造株式会社が酒造・酒販事業を行っております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高9,049百万円(前年同期比21.4%増)、経常利益1,110百万円(前年同期比300.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益646百万円(前年同期比2.8%増)となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。

(機器事業)

機器事業は、当第3四半期は売上高6,999百万円(前年同期比27.0%増)、セグメント利益1,066百万円(前年同期比215.6%増)となりました。

(不動産事業)

不動産事業は、当第3四半期は売上高554百万円(前年同期比10.8%増)、セグメント利益259百万円(前年同期比4.4%増)となりました。

(電気事業)

電気事業は、当第3四半期は売上高753百万円(前年同期比3.2%減)、セグメント利益246百万円(前年同期比3.0%減)となりました。

(コンテンツ事業)

コンテンツ事業は、当第3四半期は売上高566百万円(前年同期比15.5%増)、セグメント利益23百万円(前年同期は5百万円の損失)となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、当第3四半期は売上高174百万円(前年同期比2.7%増)、セグメント損失10百万円(前年同期は26百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末(2019年3月31日)に比べ1,249百万円増加し、33,345百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ122百万円増加し、13,992百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加(389百万円増)、商品及び製品の増加(573百万円増)の一方で、現金及び預金の減少(281百万円減)、電子記録債権の減少(266百万円減)、原材料の減少(256百万円減)によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1,127百万円増加し、19,352百万円となりました。これは主に建物及び構築物の増加(671百万円増)、土地の増加(832百万円増)、長期貸付金の増加(126百万円増)の一方で、機械装置及び運搬具の減少(323百万円減)によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ815百万円増加し、18,093百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加(433百万円増)、長期借入金の増加(502百万円増)の一方で、未払法人税等の減少(244百万円

減)によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ433百万円増加し、15,251百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加(443百万円増)によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、2019年5月14日付決算短信の発表数値からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,876,132	7,594,379
受取手形及び売掛金	1,441,645	1,830,924
電子記録債権	1,137,249	871,185
商品及び製品	736,839	1,310,734
仕掛品	521,239	464,769
原材料	981,937	725,566
コンテンツ	0	811
その他	1,178,609	1,198,837
貸倒引当金	△2,870	△4,252
流動資産合計	13,870,782	13,992,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,376,291	5,048,092
機械装置及び運搬具(純額)	3,717,229	3,393,258
土地	8,491,189	9,323,358
その他(純額)	117,535	126,728
建設仮勘定	61,500	—
有形固定資産合計	16,763,746	17,891,437
無形固定資産		
ソフトウェア	127,842	82,767
その他	21,012	19,352
無形固定資産合計	148,855	102,120
投資その他の資産		
投資有価証券	320,736	306,636
長期貸付金	1,295,000	1,421,000
繰延税金資産	115,693	119,382
長期前払費用	370,235	365,925
その他	317,634	318,028
貸倒引当金	△1,106,357	△1,171,945
投資その他の資産合計	1,312,941	1,359,026
固定資産合計	18,225,542	19,352,584
資産合計	32,096,325	33,345,542

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,727,817	2,161,146
短期借入金	1,140,000	1,140,000
1年内返済予定の長期借入金	2,362,758	2,354,130
未払法人税等	467,236	222,863
賞与引当金	36,677	21,028
製品保証引当金	9,000	6,000
返品調整引当金	3,734	3,959
販売促進引当金	21,800	18,250
その他	242,789	334,725
流動負債合計	6,011,813	6,262,102
固定負債		
長期借入金	9,658,727	10,160,741
リース債務	16,764	19,506
役員退職慰労引当金	530,587	532,558
退職給付に係る負債	52,467	62,008
長期預り保証金	686,131	730,253
資産除去債務	322,019	324,396
長期末払金	—	2,324
固定負債合計	11,266,696	11,831,788
負債合計	17,278,509	18,093,890
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,006,900	1,006,900
資本剰余金	673,700	673,700
利益剰余金	13,102,959	13,546,593
自己株式	△4,271	△4,281
株主資本合計	14,779,287	15,222,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,528	28,739
その他の包括利益累計額合計	38,528	28,739
純資産合計	14,817,815	15,251,651
負債純資産合計	32,096,325	33,345,542

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	7,451,355	9,049,205
売上原価	5,718,742	6,419,927
返品調整引当金繰入額	△485	224
売上総利益	1,733,099	2,629,053
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	133,577	161,590
販売促進費	47,454	195,484
役員報酬	159,445	157,353
給料手当及び賞与	198,392	224,378
賞与引当金繰入額	6,509	11,701
退職給付費用	8,207	10,381
役員退職慰労引当金繰入額	6,580	6,473
製品保証引当金繰入額	7,000	6,000
貸倒引当金繰入額	18,617	3,969
販売促進引当金繰入額	21,650	△3,550
その他	677,577	681,482
販売費及び一般管理費合計	1,285,012	1,455,265
営業利益	448,086	1,173,788
営業外収益		
受取利息	4,403	5,163
受取配当金	6,545	6,170
企業立地奨励金	34,282	44,444
その他	25,215	15,313
営業外収益合計	70,446	71,091
営業外費用		
支払利息	59,692	56,587
貸倒引当金繰入額	159,000	63,000
その他	22,244	14,978
営業外費用合計	240,937	134,565
経常利益	277,595	1,110,315
特別利益		
固定資産売却益	633,310	—
違約金収入	100,000	—
特別利益合計	733,310	—
特別損失		
固定資産除売却損	750	0
役員退職慰労金	3,000	—
特別損失合計	3,750	0
税金等調整前四半期純利益	1,007,155	1,110,315
法人税、住民税及び事業税	394,275	463,599
法人税等調整額	△15,384	621
法人税等合計	378,890	464,221
四半期純利益	628,265	646,093
親会社株主に帰属する四半期純利益	628,265	646,093

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	628,265	646,093
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,949	△9,788
その他の包括利益合計	△23,949	△9,788
四半期包括利益	604,315	636,305
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	604,315	636,305
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	電気事業	コンテンツ事業	その他(注)1	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	5,511,052	500,274	778,996	490,738	170,294	7,451,355	—	7,451,355
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	31,755	—	5,350	589	37,694	△37,694	—
計	5,511,052	532,030	778,996	496,088	170,883	7,489,050	△37,694	7,451,355
セグメント利益又は損失(△)	338,017	248,799	253,891	△5,827	△26,450	808,429	△360,343	448,086

(注) 1 妙高酒造株式会社が運営する酒造事業を「その他」としております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△360,343千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機器事業	不動産事業	電気事業	コンテンツ事業	その他(注)1	計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	6,999,495	554,315	753,756	566,733	174,903	9,049,205	—	9,049,205
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	5,800	36,307	—	400	374	42,881	△42,881	—
計	7,005,295	590,622	753,756	567,133	175,278	9,092,087	△42,881	9,049,205
セグメント利益又は損失(△)	1,066,638	259,796	246,380	23,284	△10,598	1,585,501	△411,712	1,173,788

(注) 1 妙高酒造株式会社が運営する酒造事業を「その他」としております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△411,712千円は、主に提出会社の管理部門に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は2020年1月24日開催の取締役会において、株式会社下仁田物産の発行済全株式を取得し、子会社化することを決議いたしました。また、同日付で株式譲渡契約を締結し、株式の取得を実行いたしました。

1. 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 :株式会社下仁田物産

事業の内容 :蒟蒻粉・小麦粉・澱粉を主原料とする食料品の製造および販売
農産食料品の味付加工・保存加工および販売

②企業結合を行った主な理由

当社グループは、当社および連結子会社5社により遊技場設備機器、太陽光発電、ゲームソフト、酒類醸造、不動産賃貸等多岐にわたる事業を行なっておりますが、更に事業分野の拡充を目指しております。こうした中、蒟蒻の主要産地・群馬県内に蒟蒻ゼリー、コンニャク食品等の製造拠点を置き、広域にわたって販売活動を展開している株式会社下仁田物産を当社グループに迎えることといたしました。

③企業結合日

2020年1月24日(株式取得日)

2020年2月29日(みなし取得日)

④企業結合の法的形式

株式取得

⑤企業結合後の名称

変更ありません。

⑥取得した議決権比率

100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものであります。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得価額については株式取得の相手先の意向により非公表としております。

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 55,000千円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。